

2017年2月9日

岡山県知事

伊原木隆太 様

日本共産党岡山県議会議員団

団長 森脇 久紀

岡山県での米海兵隊の単独訓練に反対するよう求める要望書

米軍岩国基地に駐留する海兵隊が、陸上自衛隊日本原演習場において単独訓練を行いたいと、中国四国防衛局を通じて津山市および奈義町に打診していることが先般明らかになりました。

岩国基地には今年16機のF35戦闘機が配備されるとともに、空母艦載機も約60機移駐され、所属機は約130機体制となります。これにより岩国基地は、東アジア最大の航空基地となります。また、沖縄に配備されているオスプレイは、岩国基地にも飛来し訓練を繰り返しています。

この間アメリカは、在日米軍基地を海兵隊と空母打撃群の両面で基地機能の強化をすすめています。そもそも海兵隊や空母打撃群は、世界への「殴り込み」が主要な任務であり、日本防衛の任務など有していません。そのような部隊に基地を提供し続けていること事態、日本の地位に関わる大問題ですが、そのうえ演習場まで提供するなど、たとえ短期間であったとしても簡単に納得できる問題ではありません。

在日米軍はこれまでも、超低空飛行による爆音、民家の土蔵崩壊など岡山でも県民の平穏な暮らしを脅かしてきました。基地が集中する沖縄県では、暴行事件など残虐な犯罪も続発しています。このような米軍に美しい郷土と住民の平穏な暮らしを破壊させないために、訓練を受け入れないことを、国および関係機関に強く求めていただきたく、要望するものです。

以上